

2022年6月吉日

日本物流学会 会員 各位

第39回 全国大会実行委員会 委員長 岡本 純

第39回 日本物流学会全国大会のご案内

拝啓 学会員の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、「第39回日本物流学会全国大会」を本年の9月9日(金)と9月10日(土)に開催することとなりました。今回は新型コロナウイルス感染状況を考慮し、前回と同様にZoomを使用するオンライン開催(開催本部は名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり内)となります。統一論題は「物流における持続可能性の確保」です。つきましては万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。統一論題の詳細とプログラムの概要は、添付の別紙をご参照ください。

また、お手数をおかけしますが、全国大会への参加登録は日本物流学会のホームページ(<http://www.logistics-society.jp>)のトップページにアクセスし、加えて会員総会への参加登録もお願い申し上げます。

大会参加費は下記の通りで前回と同じです。

正会員 3000円 準会員 1000円 非会員 5000円

ご参考までに個人賛助会員の大会参加費は正会員と同額、シニア会員は半額とします。学会顧問の大会参加費は無料とします。法人賛助会員は一口当たり1名の大会参加費を無料とし、それ以上の場合には正会員と同額とさせていただきます。ちなみに全国大会において研究報告をする方については、参加費をお支払いいただくことを研究報告の条件とさせていただきます。

なお、大変お手数をおかけし恐縮ですが、今回の参加費の払い込みはYahooのPassMarketを利用しオンラインで行いますので、下記のアドレスにアクセスしチケット購入という方法でお願い申し上げます。なお、払い込みマニュアルは学会ホームページに掲載されております。

第39回日本物流学会全国大会

2022年9月9日(金) 13:00 ~ 2022年9月10日(土) 17:00

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02jdr6he15e21.html>

全国大会と会員総会への参加登録および参加費の振り込みは、必ず8月20日(土)までに遅滞なきようご協力をお願い申し上げます。

前回と同様に参加登録が行われ大会参加費の振り込みが確認されましたら、大会へのアクセス方法や研究報告集等の取得方法をメールにてご連絡します。なお、前回と同様に研究報告集は紙媒体ではなくデジタル化されたPDFにて配布いたします。

【問合せ先】 日本物流学会 第39回全国大会実行委員会 メールアドレス
2022jls39@gmail.com

敬具

物流における持続可能性の確保

～物流の中核をなすトラック輸送の課題を踏まえて～

第 39 回 全国大会実行委員会

物流は近年「経済の大動脈」とか「産業活動の根幹」とまで称されるようになり、いまや経済や産業とともに国民生活を支える社会インフラとしてだけでなく、地震、台風、津波など自然災害時のライフラインとして強く認識されるようになってきた。他方、最近では国際社会全体が取り組むべき共通目標として国連が定めた「SDGs（持続可能な開発目標）」が注目を集めるようになり、この情勢を背景にあらゆる分野で「持続可能性（サステナビリティ）」が問われるようになってきた。このため物流活動においても持続可能性の観点を取り入れることが必要になってきたと考えられる。

さて、日本の国内物流の中核となりトンベースで9割以上を占めるトラック輸送は、働き方改革によるトラックドライバーの不足と高齢化の解消や長時間労働の是正、荷主との取引環境改善による荷待ち時間の削減や燃料価格上昇を考慮した適正運賃の浸透といった深刻な問題を抱え、このままでは物流の停滞を引き起こし持続不可能な危機的状況に陥る懸念すら指摘されている。実際のところ、トラックドライバーに時間外労働の上限規制が適用される 2024 年問題も間近に迫っている。したがって物流における持続可能性に関する課題解決は、日本の経済や産業、さらに国民生活を支えるうえで喫緊の課題と言って過言ではないであろう。しかし、2年以上におよぶコロナ禍においてトラックドライバーは医療従事者などとともにエッセンシャルワーカーに位置づけられているにもかかわらず、いまだトラックドライバー不足等を解消するソリューション（解決策）が明確に見えてこないのが現状ではないだろうか。

一方、物流現場を支えるトラックドライバーに加え、ロジスティクスやサプライチェーン・マネジメント（SCM）、さらに物流経営の高度化や物流DX（デジタルトランスフォーメーション）・GX（グリーントランスフォーメーション）、マテハン（MH）技術の導入といった新しい視点から、物流現場の労働環境の厳しい実態を正確に把握したうえで、物流の効率化や高付加価値化など生産性を向上させる革新的な企画・提案のできる「高度物流人材」の育成が、トラック輸送の成長と発展に不可欠であることはもはや疑う余地がない。加えて最新の総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）で取り上げられた「担い手にやさしい物流」を実現する構造改革とともに、物流分野への若年層の就業を増やしてトラガールなど女性の活用を推進するためには職場環境を魅力あるものに改善することが必須となり、これらの課題を解決するには物流活動に対する国民的な関心を高める広報・広告活動の充実なども今後求められるであろう。

以上のような動向に鑑み、日本物流学会第 39 回全国大会では、物流の中核をなすトラック輸送の課題を踏まえ「物流における持続可能性の確保」を統一論題として設定する次第である。

以上

日本物流学会 第 39 回 全国大会プログラム

9月8日(木) Zoom によるオンライン開催
夕刻に役員会を開催

9月9日(金) Zoom によるオンライン開催
13:00～ 開会の挨拶
13:10～ 基調講演 I
14:10～ 基調講演 II
15:10～ 基調講演 III
16:20～ 会員総会

9月10日(土) Zoom によるオンライン開催
終日、研究報告会を開催
10:00～12:30 統一論題、自由論題、院生セッション
13:30～16:30 統一論題、自由論題、院生セッション

- * 以上の時間設定等は一応の目安で、変更の可能性があります。詳細は確定次第、学会のホームページに掲載しますので、ご確認ください。
- * 開催本部は「名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり」内に設置されます。

第 39 回 全国大会実行委員会の構成員

実行委員長	岡本 純	(全体統括)
実行副委員長	杉浦礼子	(総務)
実行委員	土井義夫	(研究報告集)
実行委員	桑 海侠	(会場)
実行委員	大野豊久	(会場)
実行委員	三浦康弘	(会場)
実行委員	松本義宏	(会計・通信)
アドバイザー	丹下博文	(助言)

以上

日本物流学会 第 39 回 全国大会の報告者募集

第 39 回全国大会の研究報告会の報告者を募集します。研究報告会は、2022 年 9 月 10 日（土）に行われます。

報告を希望される場合、「全国大会研究報告申込用紙」（別紙 4）を日本物流学会ホームページからダウンロードして、必要事項を記入のうえ日本物流学会第 39 回全国大会実行委員会宛に電子メールの添付ファイルで提出してください。

提出締切りは **2022 年 7 月 9 日（土）** です。

* 日本物流学会 HP 【研究報告申込用紙ダウンロード先】

<http://www.logistics-society.jp>

* 日本物流学会第 39 回全国大会実行委員会アドレス 【申込用紙送信先】

2022jls39@gmail.com

実行委員会から報告者への連絡やお願いは電子メールにて行います。実行委員会への連絡や問合せも、上記アドレス宛に電子メールでお願いします。

研究報告集への原稿提出の期限は **2022 年 8 月 19 日（金）** です。書式等の詳細も含めて、後日、報告予定の方に直接連絡します。

研究報告にあたっては、下記の全国大会の発表に関する規程を参照してください。

【日本物流学会全国大会での発表に関する規程】

1. 全国大会で発表する論文の著者（および発表者）は、本学会の会員でなければならない。ただし共著の場合は、論文の筆頭者および発表者が原則として会員で、著者の半数以上が会員であることを発表の条件とする。たとえば、2 名のときには最低 1 名が会員であること、3 名のときは最低 2 名が会員であること（以下同様）。
2. 全国大会において発表する論文は、発表者 1 名に対して 1 論文とする。
3. 同一著者が複数の論文の筆頭著者となることはできない。ただし、他論文で 2 番目以降の共著者となることは認める。
4. 全国大会での発表を申し込んだ会員は、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられている。原稿が提出できなかった場合は、発表を行うことはできない。また正当な理由がない限り、発表をキャンセルすることはできない。正当な理由がなく発表をキャンセルした場合は、原則として以降 2 年間は発表の申し込みが出来ないものとする。

付則

この規程は平成 26 年（2014 年）3 月 8 日より施行する。

以上

第 39 回（2022 年度）全国大会研究報告申込用紙

報告代表者	お名前			
	ご所属			
	会員種別	正会員	準会員	賛助会員
	連絡先	電子メール： TEL	:	
応募種別	統一論題	自由論題	院生セッション	
論文題目				
報告者全員のお名前とご所属				
報告内容のキーワード				
報告の概要を 200 字程度で記入してください（英文の場合は 100 字程度）				

※ 本用紙は、学会の WEB サイト (<http://www.logistics-society.jp>) からダウンロードしてください。